四万十市立中村中学校　　社会科学習指導案　　2年「　幕政の改革　」　　授業者　横山　渉　　令和7年10月2日（木）

研究主題　「学びを工夫しながら課題解決できる生徒の育成」～学びのつながり・他者とのつながりから深い学びへ～

単元を貫く問い　自分が将軍だったら、どんな政治を行うだろう？

この単元と関連した領域の付いている力（◆）と内容（●）
【小学校第6学年】
◆知識及び技能
・江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解している。
・遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめている。
◆思考力・判断力・表現力等
・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な時代を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。
●幕府の政治と人々の暮らし　新しい文化と学問

本単元の目標

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

学びに向かう力、人間性等
・江戸幕府の政治の立て直しに効果的な政策を行った改革について、主体的に追究し解決しようとしている。

単元終了時のめざす生徒の姿
・江戸幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解している。
・幕府政治の立て直しに効果的な政策について、社会と経済の変化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、根拠に基づいて自分の考えを表現している。
・既習内容と関連づけて、次の学習へのつながりを見出そうとしている。

知識及び技能
・社会の変動など様々な理由を背景に、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解する。
・幕府の改革と社会の変化について、諸資料から課題解決に必要な情報を調べてまとめる。

思考力・判断力・表現力等
・幕府政治の立て直しに効果的な政策について、社会と経済の変化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、根拠に基づいて自分の考えを表現する。

この単元からつながっている領域の付けたい力（◆）と内容（●）
【第2学年】
◆欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。
◆近世の日本の特色を多面的・多角的に考察する。
●近代の日本と世界

社会科的活動

課題を把握し、解決すべき課題を設定して、課題を追究したり解決したりする　活動

諸資料から必要な情報を適切に選択し、有効に活用し、歴史に関わる事象を結び付けながら、まとめる　活動

意見交流や情報交換を通して、多面的・多角的に考察し、表現する　活動

課題把握

【1時間】
〇年表から幕府の政治改革が繰り返し行われていることを読み取る。
＜めあて＞
なぜ幕府の政治に改革が必要となったのだろう。

・ききんが発生した。
・百姓一揆や打ちこわしが多くなった。
・幕府の財政が悪化した。

〇生徒の疑問や言葉から単元を貫く問いをを設定し、確認する。

〇自分だったら、どんな政治をするか考えよう。

課　題　追　究

【3時間】（本時2/3）
（政策の結果に着目し、幕府、武士、商人、百姓の立場から考察する。当時の社会状況を踏まえ、政策を比較することを通してそれぞれの政策の優先する価値を明確にする。）
〈めあて〉
① 徳川吉宗の政治から、どのような政治を行うか考えよう。
（享保の改革のねらいや諸政策、結果から考察する。）

② 田沼意次の政治から、どのような政治を行うか考えよう。
（田沼意次の政治のねらいや諸政策、結果から考察する。）

③ 松平定信の政治から、どのような政治を行うか考えよう。
（寛政の改革のねらいや諸政策、結果から考察する。）

課題解決

【1時間】
〈めあて〉
自分が将軍だったら、どんな政治を行うだろう。

〇この時期の幕府はどんな状況だったか？
・貨幣経済の新党により格差が拡大していた。
・ききんが発生。
・百姓一揆や打ちこわしの多発。
・幕府の財政の悪化。

〇社会の状況を踏まえて、自分が将軍だったらどんな政治を行うか、根拠を明確にして記述する。

評価規準

【思・判・表】
・江戸幕府の政治が行き詰まった理由を、産業の発展による社会の変化や百姓一揆に着目して考察し、表現している。

【知・技】
・幕府による諸改革の特色と当時の社会背景について理解している。

【思・判・表】
・幕府による諸改革の内容を評価し、多面的・多角的に結果を考察している。

【主】
・幕府の政治の立て直しに効果的な政策ついて主体的に追究しようとしている。
【思・判・表】
・諸改革の効果を多面的・多角的に考察し、根拠に基づいて自分の考えを表現している。

見方・考え方を働かせている生徒の姿

時期、年代など時系列に関わる視点、諸事象の推移に関わる視点、類似、差異、特色など諸事象の比較に関わる視点などに着目して、比較したり、関連させたりして、多面的・多角的に考察している。

時代の転換の様子を考察している。

歴史に見られる諸課題について複数の立場や意見を踏まえて選択・判断している。

生徒の実態と指導観

本校社会科の課題は、基本的な事項を理解し関連づけて思考すること、複数の資料を活用して条件に沿ったまとめや表現をすること、課題解決に向けて既習したことを活用して予測し考えをつないでいくことがあげられる。２年生は昨年度の県版学力調査で基本的な知識理解が不十分である。社会的事象や単元を貫く課題に対して学びを振り返りながら、必要な資料の取捨選択、資料の読み取り方、自分なりの考えを根拠を示して表現することを通して知識の定着を図りたい。

【本時の目標】　田沼意次による政治の内容や結果を多面的・多角的に考察する。（本時　3/6時間）

【本時における社会的な見方・考え方】 政治と社会の変化の視点に着目して、事象を相互に関連付け、考えの根拠を見つけながら課題を追究する。

問題　自分が将軍だったらどんな政治を行うだろう？

享保の改革
・目安箱
・倹約令
・上米の制
・公事方御定書

〇ききん
〇打ちこわし（江戸）

田沼意次

めあて　田沼意次の政治からどのような政治を行うか考えよう。

☆良かった点と悪かった点
（結果や社会の変化）

良かった点
・商業が発展した。
・経済が活発になった。

悪かった点
・わいろ政治が起こった。

☆社会の状況

・天明のききん
（浅間山の噴火、冷害、洪水）
・百姓一揆や打ちこわしの増加

振り返り
田沼意次の政治は、株仲間を奨励したり貿易を拡大したりしていて経済面でとても優れていた政治だった。しかし、その一方でわいろが盛んになって政治が乱れたので商人を取り締まる法律を作って罰則を厳しくすればよかった。

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て
（「問題」・「めあて」の工夫、まとめ、発問、活動など）

本単元では、導入で年表から幕府の政治改革が続いて行われていることに気づかせ、「なぜ幕府の政治改革が続いて行われるようになったのか」という問いを持たせるように仕組み、江戸時代の社会変化の影響に着目して幕政改革を多面的・多角的に評価する単元課題を設定する。この課題に迫るために、多面的には経済の面と福祉の面を中心に、多角的には幕府、武士、商人、百姓などの様々な立場で考察させ、当時の人々、社会の状況を考慮しながら評価する。

また、課題解決をしていく過程では、既習事項や資料から読み取ったことを基に自分の考えをもち、意見交流をすることで多面的・多角的に考察し、自分の考えを深められるようにしていく。

【これまでの学習を振り返り、めあてを設定する】

T　前時では享保の改革について学習しました。幕府の財政や政治を立て直すために徳川吉宗はどんな政策を行いましたか？

S　庶民の意見を聞くために目安箱を設置しました。

S　大名に対して倹約令や上げ米の制を出しました。

T　他にも新田開発や商品作物を奨励したり、公事方御定書を制定したりして将軍が先頭に立って改革に取り組みましたね。結果はどうだった？

S　幕府の収入は一時的には増えました。
S　米の値段は不安定で、ききんも重なり、江戸で初めて打ちこわしが起こりました。

T　享保の改革は成功？失敗？

S　打ちこわしも起こったし失敗だったと思う。

T　このあと政治はどうなるのだろう。年表で確認してみよう。

S　田沼意次？誰。知らない。

T　そしたら今日はどんなめあてにしよう？

めあて　田沼意次の政治から、どのような政治を行うか考えよう。

＜指導上の留意点＞

【さまざまな資料から田沼の政治について考察する。】

T　今日のめあてを達成するためにはまず何したらいい？

S　政治の内容を調べたらいい。

T　そうですね。田沼が行った政策については資料を参考にしてください。何に着目して考えたらいいだろう。

S　政治の結果。

S　社会の変化。

T　どの立場に立つかによって評価は変わるよね。それでは、まず田沼意次の政治の良かった点と悪かった点を結果や社会の変化に着目して考えてみましょう。

T　意見をロイロノートの提出箱に提出してください。

（全体共有）

S　当時の幕府の財政は厳しかったので、経済を活性化させるために株仲間や専売制、長崎での貿易を積極的に認めて商業を発展させようとしたことは良かったと思う。しかし、一方でわいろが盛んになり、政治が乱れたことは良くなかった。

S　天明のききんが起こり、百姓一揆や打ちこわしが頻発してその後田沼は失脚したけど、印旛沼の干拓、蝦夷地の調査を進めようとしたことや街道や港などのインフラを整備したことは良かった。

S　幕府の収入は年貢に頼りすぎていたと思うので、産業や経済の発展に目をつけて収入を増やそうとしたことは良かった。しかしその一方で百姓への負担が多く、生活が苦しくなった人も多かったのではないか。

＜指導上の留意点＞
当時の状況を考慮しながら多面的・多角的に考察させる。

【田沼意次の政治から自分だったらどのような政治を行うか考える。】

T　色々な立場から考えることができているね。じゃあ自分だったらどうするか考えよう。立場を明確にして田沼の政治を評価したうえで自分だったらこうするまで書かせる。

T　意見をロイロノートの提出箱に提出してください。

（全体共有）

S　私は商人の立場から株仲間の公認は必要だと考えました。理由は、商人が力をつけることで商業の活性化が図られたからです。商業の活性化は経済発展にもつながります。ききんや浅間山の噴火などの災害が起こってなければもっと商業や経済は発展していたと思います。

T　でも、商人が力をつけたことで役人との間でわいろが盛んになり、政治が乱れたんじゃないかな。

S　わいろ政治を取り締まる法律を作ればよかった。

S　私は幕府の立場から長崎貿易の拡大が必要だと考えました。貿易は重要な財源です。当時の幕府の財源は厳しいものだったので、銅や俵物を輸出するかわりに金銀の輸入の増大を図らなければもっと海外に金銀が流出していたと思います。また、海外からの新しい文化や情報を取り入れる機会も増えるはずなので、自分だったらさらに貿易を拡大していくと思います。

S　確かに、当時は鎖国状態だったので貿易の拡大は幕府にとっても民衆にとっても良かったかも。

S　私は印旛沼の干拓と新田の開発を重視すべきだったと考えます。印旛沼周辺の地域ではよく水害も発生していたらしいです。この沼を干拓することで水害も起きなくなるし、新たな耕地を増やし、食糧生産を増大することを田沼は目指していたので、生活が苦しかった百姓の立場を考えると必要だと考えました。

【振り返りをする。】

T　今日は、振り返りをしていきましょう。

S　田沼意次の政治は、今までとは違う方法で幕府を立て直そうとしていたので天明のききんが起きなければもっと良い時代になっていたかもしれない。

S　田沼の政治は経済を発展させていたが、ききんには対応できていなかった。だから私なら、ききんの対策のためにコメを庶民に配ったり備蓄したりしておく。

S　百姓の立場で考えると、田沼の政治で良いことがあまりなかった。

S　私は商人の立場から考えてみたけど百姓の立場から考えていたＳくんの考えを聞いてお金だけではなく重視すべきだったと考えが変わりました。

S　田沼意次の政治は、株仲間を奨励したり　貿易を拡大したりしていて経済面でとても優れていた政治だった。しかし、その一方でわいろが盛んになって政治が乱れたので商人を取り締まる法律を作って罰則を厳しくすればよかった。

＜指導上の留意点＞
まとめと振り返りを一緒にする。

〈評価規準〉 田沼意次の政治の結果について、多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現している。